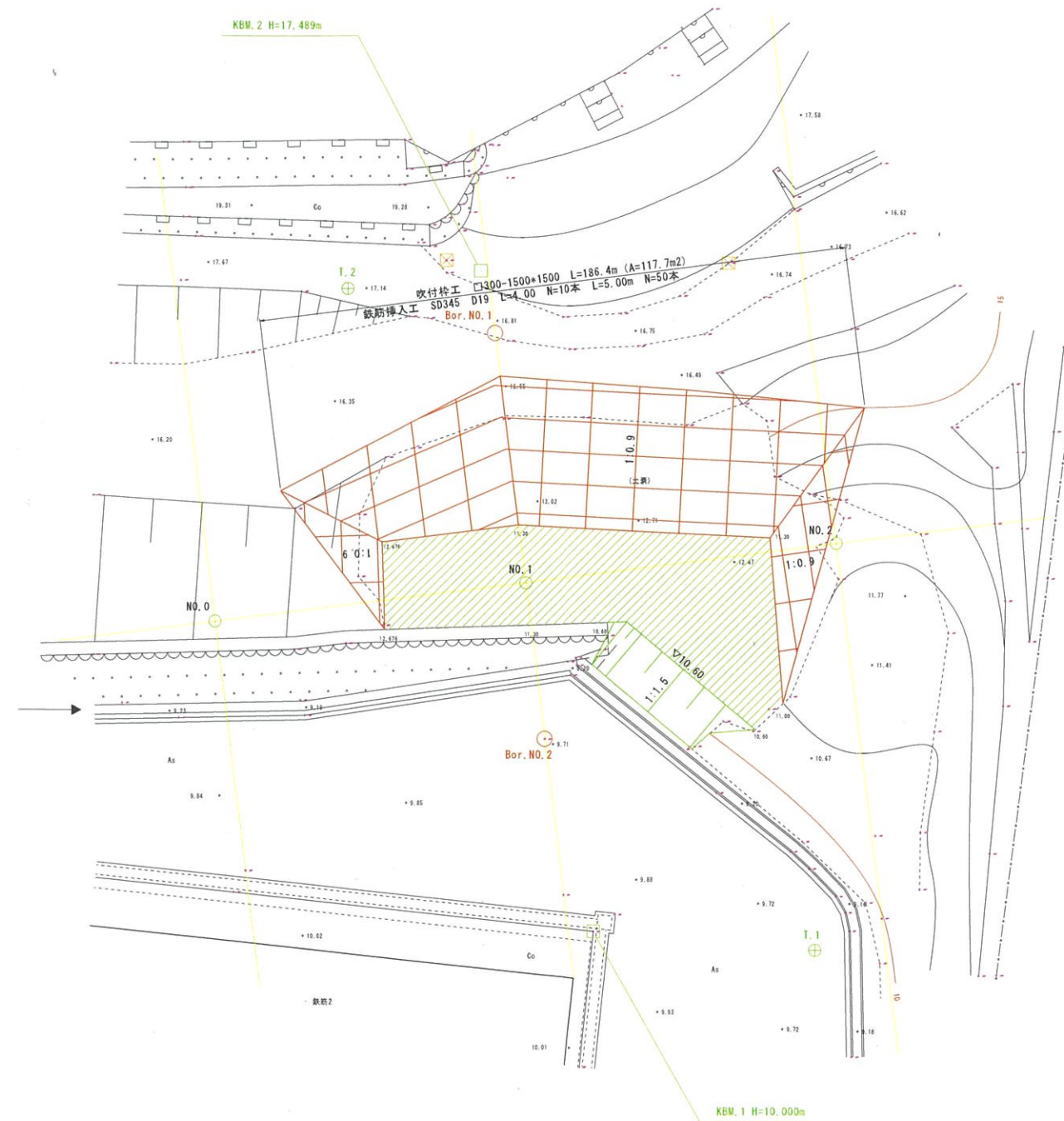


平面図

S=1:100

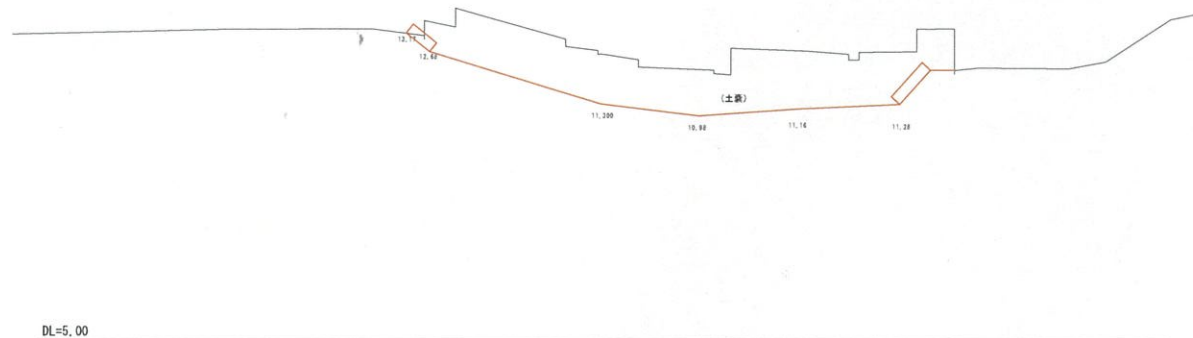


令和6年度 事業	
姫路工学キャンパス 土砂崩落復旧工事設計業務	
姫路工学キャンパス内	
平面図	1/6 全
縮尺 S=1:100	
兵庫県立大学	

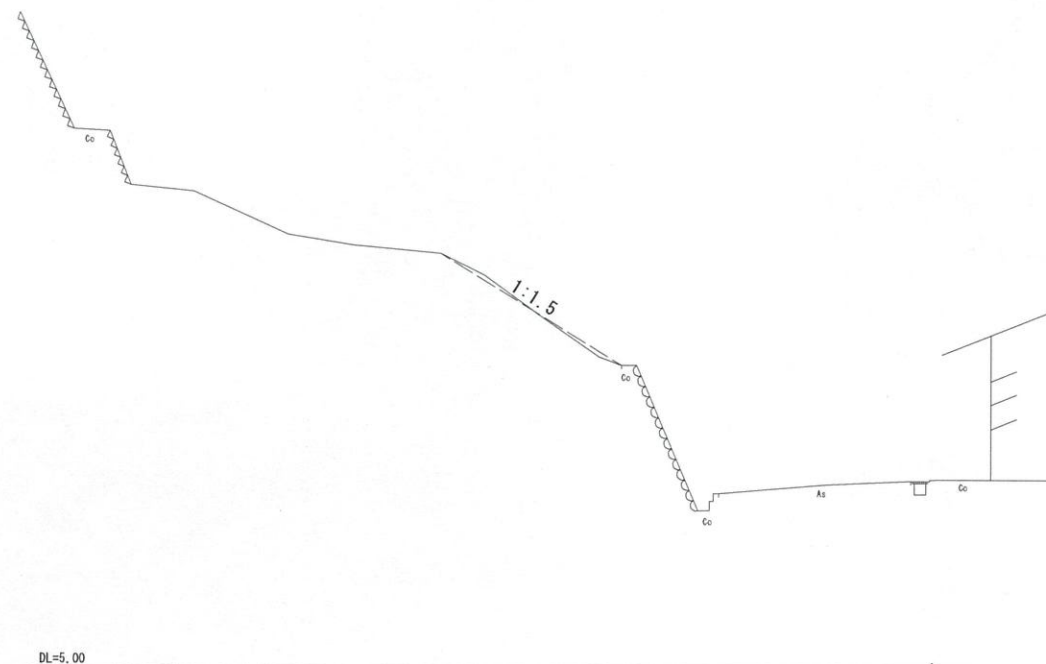
NO. 0
GH=13.27
FH=

NO. 1
GH=12.62
FH=

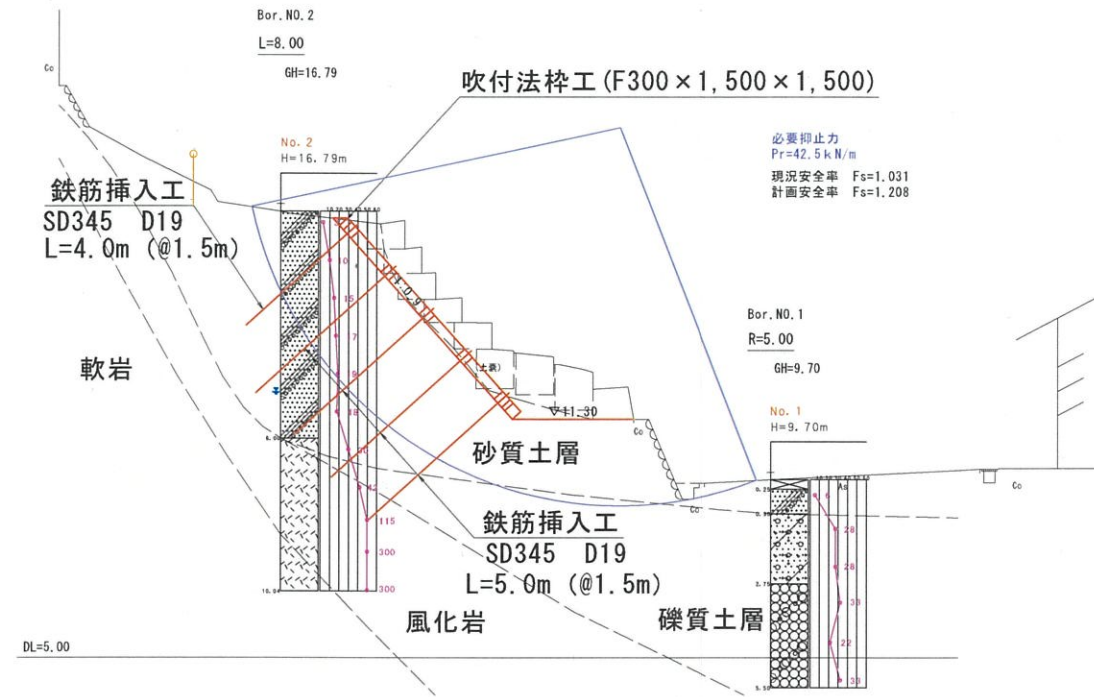
NO. 2
GH=12.25
FH=



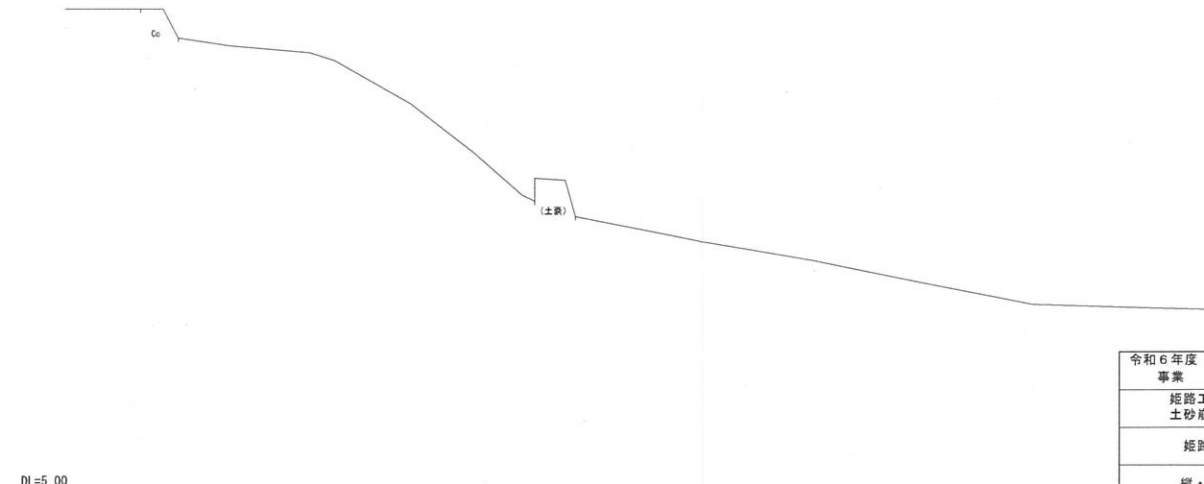
NO. 0
GH=13.27
FH=



NO. 1
GH=12.62
FH=

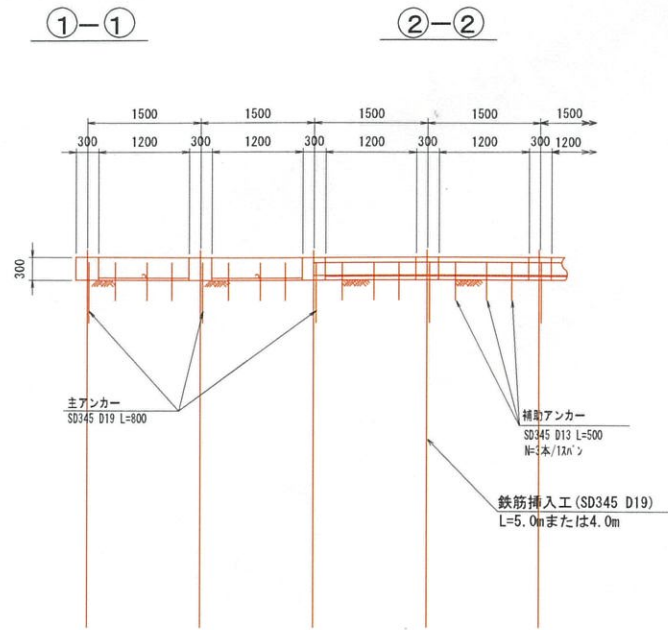


NO. 2
GH=12.25
FH=

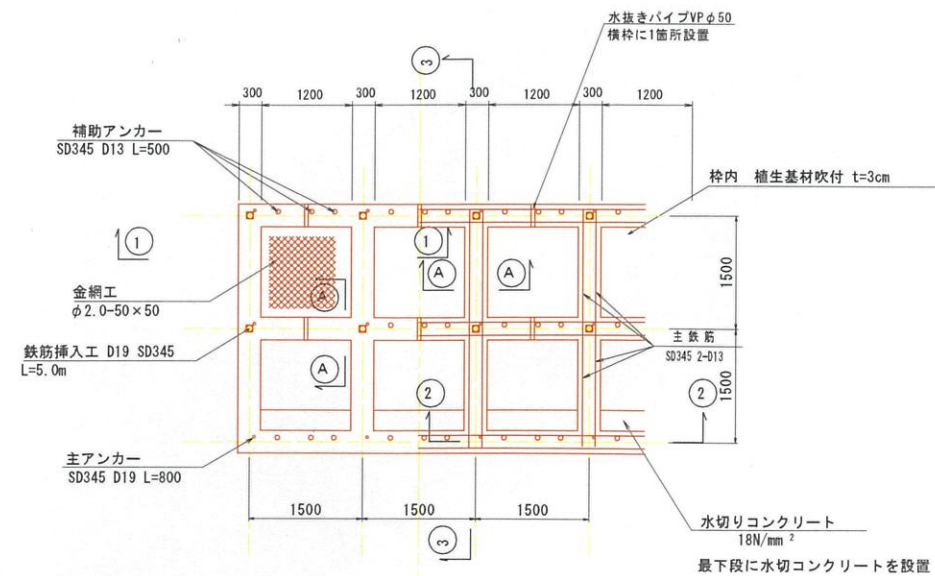


令和6年度 事業	
姫路工学キャンパス 土砂崩落復旧工事設計業務	
姫路工学キャンパス内	
縦・横断面	2/6
縮尺 S=1:100	
兵庫県立大学	

吹付法枠工構造図
(□300-1500×1500)

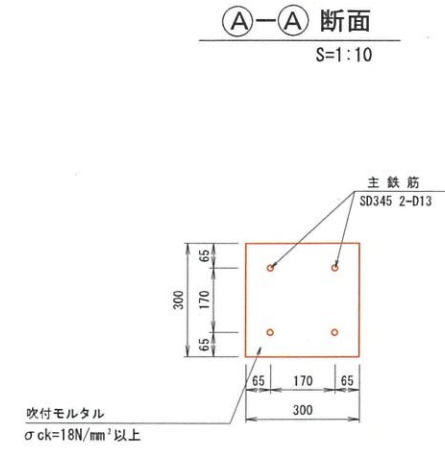


正面図
S=1:50



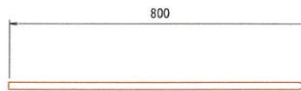
1m3当たり吹付モルタル標準計画配合比

区分	材料	セメント	細骨材	水
配合比		1	4	0.6以下



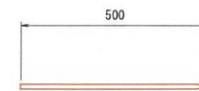
A-A断面
S=1:10

主アンカー
S=1:10



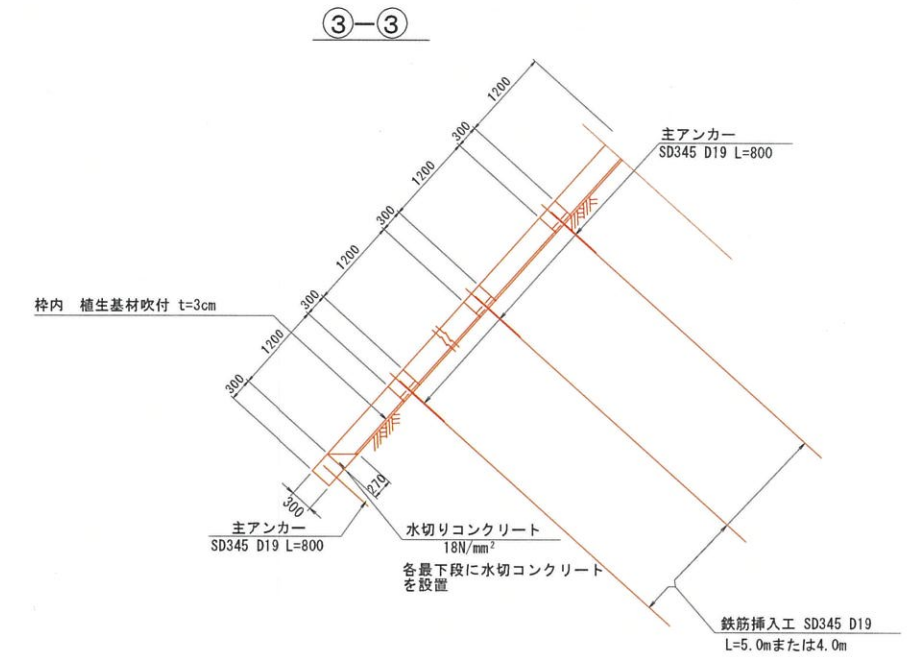
SD345 D19 L=800

補助アンカー
S=1:10



SD345 D13 L=500

標準横断面
S=1:50



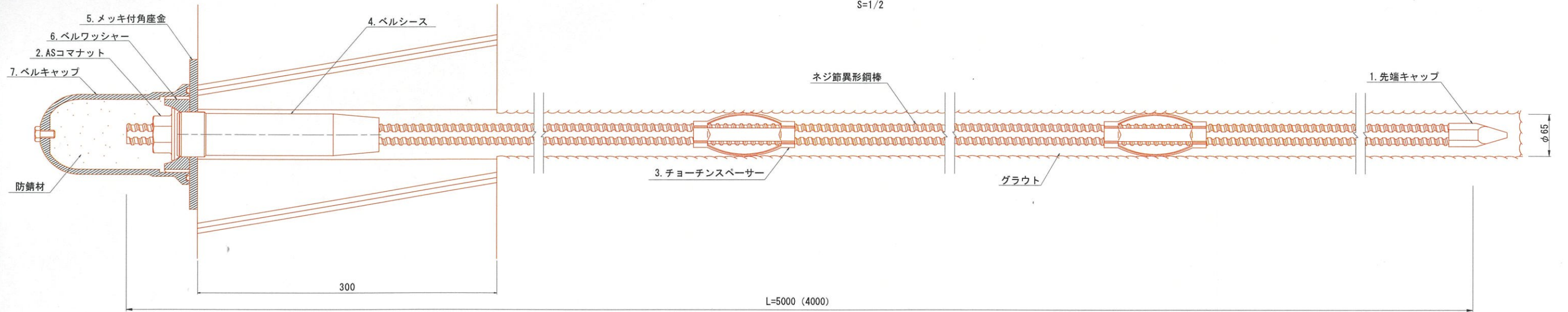
*吹付モルタルの設計基準強度 $f_{ck}=18N/mm^2$ を標準とする。
水切りコンクリート部も同様とする。
*吹付モルタルの単位セメント量は $400kg/m^3$ 以上とし、
水セメント比は60%以下を標準とする。

令和6年度 事業	
姫路工学キャンパス 土砂崩落復旧工事設計業務	
姫路工学キャンパス内	
吹付枠工構造図	3/6 全
縮尺 図示	
兵庫県立大学	

鉄筋挿入工標準図

鉄筋挿入工構造図 (D19)

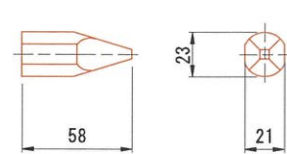
S=1/2



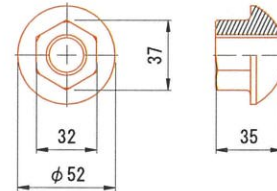
部品図 (D19)

S=1/2

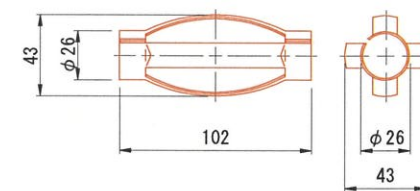
1. 先端キャップ



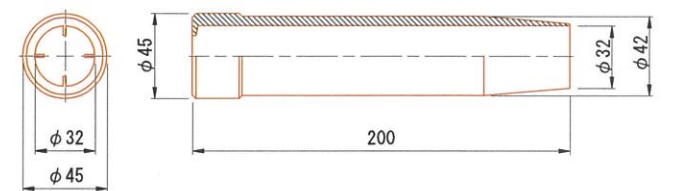
2. ASコマナット (D19用)



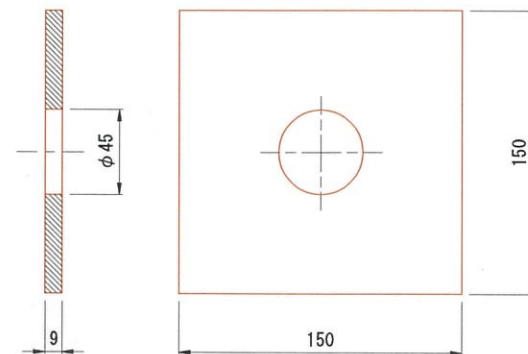
3. チョーチンスペーサー



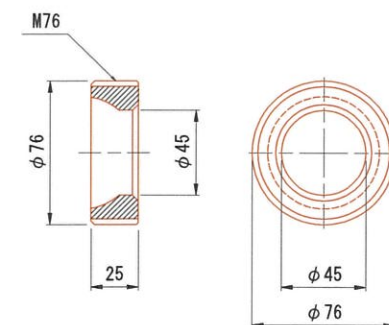
4. ベルシース



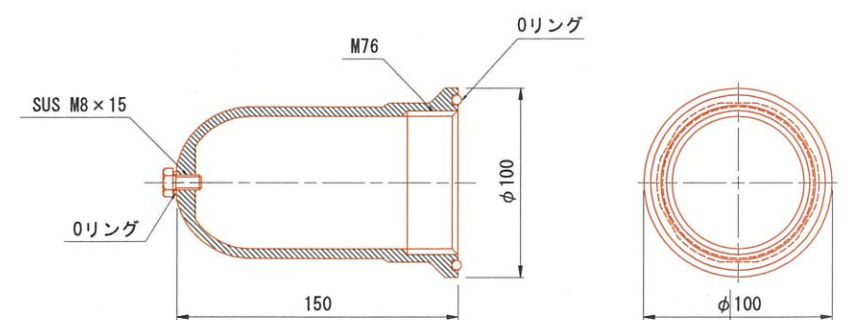
5. メッキ付角座金



6. ベルワッシャー



7. ベルキャップ (アルミ製)



鉄筋挿入工 数量表

(1本当り)

種 別	仕 様	単 位	数 量	備 考
ネジ節鋼	SD345 D19	m	5.00 (4.00)	溶融亜鉛めっき HDZ 55
キャップ	防錆剤入り	個	1	
ナット	ASコマナットD19用	個	1	溶融亜鉛めっき HDZ 35
スペーサー	D19用	個	2	電気めっき 最大ピッチ2.5mで最低2箇所
角座金	150×150×9 (φ45)	枚	1	溶融亜鉛めっき HDZ 55
ワッシャー		個	1	溶融亜鉛めっき HDZ 35
シース		個	1	溶融亜鉛めっき HDZ 35
グラウト	σ=24N/mm ²	m ³	0.023 (0.019)	溶融亜鉛めっき HDZ 35

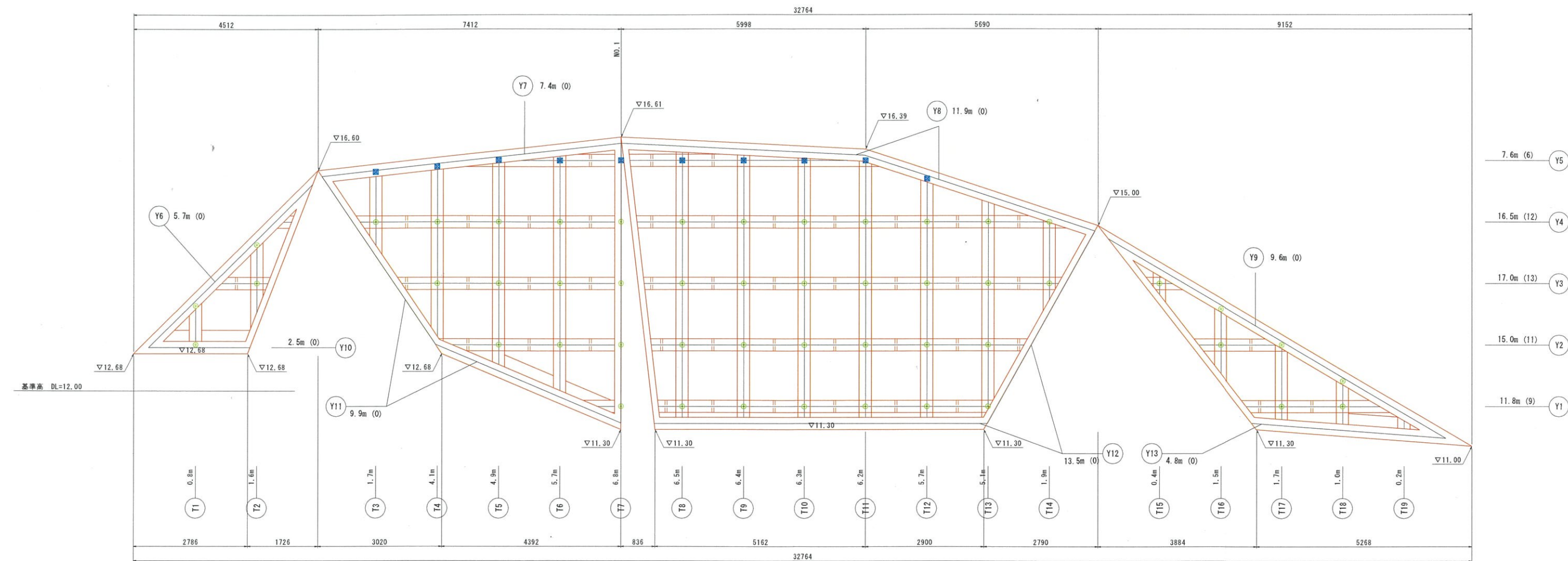
グラウト注入材の配合は以下を標準とする。

	ポルトランド セメント	水 (W/C)
重量配合比	1	0.5~0.55
1m ³ 当たり配合	1,230kg	

法面工展開図(1)

S=1:50

記号	名 称	規 格	長さ	本数	摘要
■	鉄筋挿入工	SD345 D19	4.0m	10本	
●	鉄筋挿入工	SD345 D19	5.0m	50本	



法面法枠延長集計表

横 枠			縦 枠			
記号	長さ	交点数	記号	長さ	記号	長さ
Y1	11.8	9	T1	0.8	T12	5.7
Y2	15.0	11	T2	1.6	T13	5.1
Y3	17.0	13	T3	1.7	T14	1.9
Y4	16.5	12	T4	4.1	T15	0.4
Y5	7.6	6	T5	4.9	T16	1.5
Y6	5.7	0	T6	5.7	T17	1.7
Y7	7.4	0	T7	6.8	T18	1.0
Y8	11.9	0	T8	6.5	T19	0.2
Y9	9.6	0	T9	6.4		
Y10	2.5	0	T10	6.3		
Y11	9.9	0	T11	6.2		
Y12	13.5	0			計	68.5m
Y13	4.8	0				
計	133.2m	51ヶ所				

*大型土のうが設置されており、斜面形状は想定のため、
施工前に形状を確認のうえ、法面形状を調整すること。

(参考図)	
令和6年度 事業 姫路工学キャンパス 土砂崩落復旧工事設計業務 姫路工学キャンパス内 法面工展開図(1)	
縮尺 S=1:50	5/6 全
兵庫県立大学	

法面工展開図(2)

S=1:50

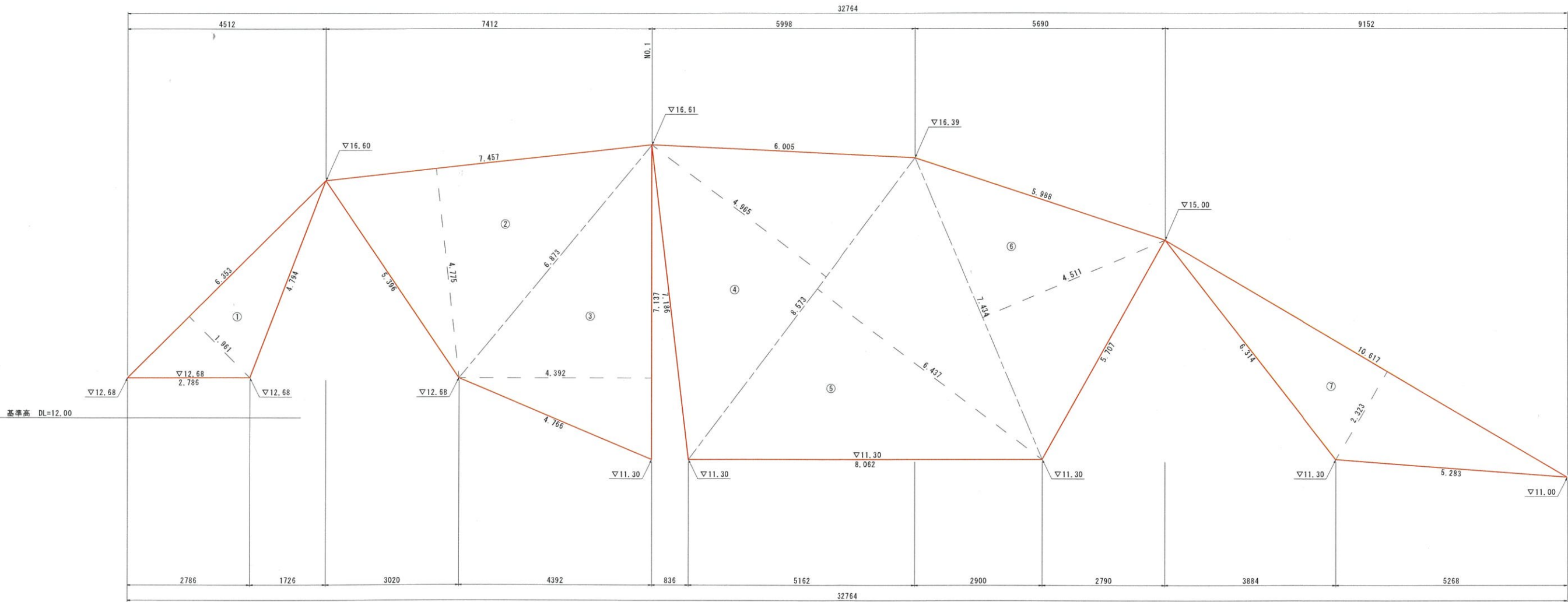
記号	底辺	高さ	倍面積 m ²
1	6.353	1.961	12.458
倍面積 m ²			12.458
面積 m ²			6.229

記号	底辺	高さ	倍面積 m ²
2	7.457	4.775	35.607
3	7.137	4.392	31.346
倍面積 m ²			66.953
面積 m ²			33.477

記号	底辺	高さ	倍面積 m ²
4	8.573	4.965	42.565
5	8.573	6.437	55.184
6	7.434	4.511	33.535
倍面積 m ²			131.284
面積 m ²			65.642

記号	底辺	高さ	倍面積 m ²
7	10.617	2.323	24.663
倍面積 m ²			24.663
面積 m ²			12.332

全体面積 6.229+33.477+65.642+12.332=117.680m²



*大型土のうが設置されており、斜面形状は想定のため、
施工前に形状を確認のうえ、法面形状を調整すること。

令和6年度	
事業	
姫路工科大学キャンパス 土砂崩落復旧工事設計業務	
姫路工科大学キャンパス内	
法面工展開図(2)	6/全
縮尺 S=1:50	6
兵庫県立大学	